登山だより

■五月行事日程■

一日～七日
聖天秘供(聖天堂)

八日、二十日
弁天様御縁日

七日、二十七日
御詠歌勉強会
(十時山麓不動院)

八日
仏舎利詣り(仏舎利塔)

十八日
高尾山天狗まつり

二十五日
月例写経会
(十三時山麓不動院)

二十六日
高尾山とんとんむかし
「語り部の会」
(十二時半山麓不動院)

二十一日
飯縄様御縁日
神徳報謝百味飲食供
(九時大本堂)

二十八日
奥之院開扉供養
(十時奥之院)

☆神徳報謝百味飲食供

高尾山御本尊飯縄大権現様の日々の御加護に感謝し、沢山の御供物を捧げて御本尊様威光倍増の為、御供養申し上げる法要です。

皆様の御志納を受け付けておりますので、ご希望の方は大本堂までお申し出下さい。

尚、法要終了後に百味のお札を授与致します。

毎月二十一日午前九時勤修
御志納金　一口三千円以上

毎日のお護摩奉修時間

(4月15日～10月31日まで)

午前5時30分
〃　9時30分
〃　11時00分

午後0時30分
〃　2時00分
〃　3時30分

ご講中・団体等御相談下さい。

高尾山の昆虫 114

イタヤハマキチョッキリ

四月ともなれば各種の花が咲き始め、カエデも咲き方は極めて地味ながら、赤みがかった可愛らしい花を付けます。

「風媒花(ふうばいか)」と呼ばれ、風により飛ばされて根付くとされ、そのせいなのか花弁は目立ちません。

ところが、このややぱっとしない花に多数の虫が集まり驚かされます。

大型のベニカミキリ、小型のハナカミキリやヒゲナガコバネカミキリそしてハナムグリ等の多種の甲虫の姿がありますが、その中で一際(ひときわ)インパクトがあるのが宝石のように美しいイタヤハマキチョッキリだと思います。

本種はハマキチョッキリの最大種で、その名のとおりイタヤカエデに集まり葉を巻き上げて独特の揺籃を作ることで知られています。

小さな甲虫が茎を噛(かじ)って折り曲げて、葉を巻いて揺籃(ようらん)を完成させるのは、職人技のような見事さを感じます。

同じ様な習性を持つ仲間にオトシブミがいて、種名は巻かれた葉が落ちた姿が「落し文」に似ていると風流ですが、チョッキリの方は葉をチョキンと切ることが由来のようで、少し可哀想な気がします。

(撮影・文　松島　孝)

特別精進料理「そば膳」開催に関するお知らせ

二月中旬より開催しております特別精進料理「そば膳」ですが、当院の都合により一時休止とさせていただきます。再開の時期は未定となりますので予めご了承ください。

また、ご不明点・ご質問ございましたら薬王院までご連絡下さい。

高尾山報助成金　御志納のお願い

当山では、大護摩修行や星祭り等により御縁を結ばれた御信徒様に高尾山報を送っております。

引き続いてご愛読されますよう、皆様方の助成金御志納をお願い申し上げます。

発行所
東京都八王子市高尾町2177
大本山
高尾山薬王院
郵便番号　193-8686
電話(042)-661-1115(代)
FAX(042)-664-1199
発行人　菅谷秀文
編集人　渋谷秀芳
印刷　ヒラツカ印刷社
毎月1回1日発行
1部50円

高尾山薬王院ホームページ
http://www.takaosan.or.jp